

日女大家政 沖田富美子

目的 個室における収納空間計画の基礎資料を得ることを目的としていることは前報と同様である¹⁾。本報では特に女子大学生の衣類の所有状況及び収納状態に焦点をあてる。

方法 既研究²⁾を参考に女子大学生が一般的に所有していると考えられる衣類(洋服、下着、小物、その他身の回り品)61品目を選出し、それら品目の所有の有無、収納場所、収納方法に対する評価についてのアンケート調査をおこなった(衣類品名省略)。

結果 1)衣類の所有品目数は61品目中47.8品目で78.4%の品目を所有している。2)調査対象者全員が所有している品目は14品目であり、所有率50%以下は8品目にすぎない。3)これら衣類の平均36.5品目が自室内に収納されており、他室に収納されているものは平均13.3品目である。4)既製収納家具に収納しているものが多く(88.9%)、平均20.1品目が収納されている。この場合洋服ダンス、整理ダンスを利用するものが圧倒的に多い。しかしカラーボックスや小物引き出し類を利用しているものも約1/3いる。5)次ぎに多い押入収納の場合(約半数の人が平均12.8品目収納)、茶箱、衣装缶やパイプを利用して収納しているが、押入にむき出しのまま置いているケースもある。6)衣類の収納方法としては、たたんで収納するものが一番多く(98.1%)、所有衣類の約6割をこの方法で収納している。ハンガーに吊すものも多いが(96.3%)その品目数は少ない。7)収納方法に対しては大半のものが何らかの不満をもっている。特にしわになるという不満が9割弱を占める。

1)1986・6 個室における収納空間計画 その1収納スペースの現状 第38回大会要旨集

2)1982 衣類および寝具の収納について(第1報) 家政誌 vol.33 no.8